

2005年8月期第1四半期の決算を発表

連結業績

	05/8期		04/8期	
	第1四半期 実績	(前年比)	第1四半期 実績	
売上高 (売上比)	1,044	(+12.5%)	928	100.0%
売上総利益 (売上比)	480	(+4.4%) (3.6p)	460	49.5%
販管費 (売上比)	282	(+16.0%) (+0.8p)	243	26.2%
営業利益 (売上比)	198	(8.6%) (4.4p)	216	23.3%
経常利益 (売上比)	204	(6.0%) (3.8p)	217	23.4%
当期利益 (売上比)	118	(2.6%) (1.8p)	121	13.1%

単位:億円

【サマリー】単体、連結とも増収減益。業績予想は変更なし。

2005年8月期第1四半期の単体業績は、売上高は前年同期比12.6%増の1,035億円、営業利益は同9.9%減の198億円、経常利益は同9.0%減の201億円となりました。厳しい残暑や暖冬といった天候不順の影響もありましたが、2004年9月に発表した「世界品質宣言」以降、積極的に展開した各キャンペーンが総じて成功、既存店売上高前年比で3.5%の増加を記録、新規出店効果もあり、売上高は前年同期比12.6%の増加となりました。しかしながら、売上高総利益率が46.0%と前年同期比3.7ポイント低下、売上高販管費率が26.8%と同1.1ポイントの上昇となったことから、営業利益は前年同期比9.9%の減少となりました。また、同第1四半期の連結業績も、売上高1,044億円(前年同期比12.5%増)、営業利益198億円(同8.6%減)と、単体業績同様に増収減益となりました。

なお、2005年8月期中間期・通期業績とも、連結および単体業績予想に変更はありません。

【単体業績結果】

売上高は前年同期比12.6%増の1,035億円と、増収を記録することができました。まず、出退店ですが、第1四半期は、出店35店舗、閉店10店舗、純増25店舗となり、その結果、2004年11月末時点での直営店店舗数は651店舗となりました。さらに、12月に6店舗を出店、1店を閉店した結果、同12月末時点での直営店店舗数は656店舗になっています。上期の出退店については、ほぼ期初計画通りとなる見込みです。

また、第1四半期累計の既存店売上高は、前年同期比3.5%増となりました。まず、客数(既存店ベース)は、天候不順の影響を受けたものの、新商品投入やキャンペーン展開が奏功し前年比4.2%増と前年水準を下回りました。月別に客数(既存店ベース)をみると、9月は厳しい猛暑の影響で同10.8%減となったものの、10月にはカシミアや新フリースなどのキャンペーンの寄与により同15.0%増と大幅増に転じ、暖冬となった11月もプレミアムダウンなど新商品を投入した効果もあり同1.6%増と客数増を維持することができました。ただ、第2四半期に入り、12月には暖冬基調が続くなか、同6.5%減と再び減少に転じるなど月によって大きく上下しています。一方、第1四半期の客単価は

前年比0.7%減と、消費税総額表示に伴う値下げの影響でやや低下したものの、ほぼ前年並みを維持することができました。

次に、第1四半期の売上高総利益率は46.0%と、前年同期比3.7ポイントの低下となりました。これは、消費税総額表示に伴う値下げの影響のほか、素材や品質にこだわった新商品の投入で原価が上昇したこと、厳しい残暑や暖冬といった天候不順を受けて早期の在庫調整を実施したことなどによるものです。

このほか、販管費が277億円と前年同期比17.5%増となりました。これは、人件費や広告宣伝費などの増加によるものです。まず、人件費では、グローバル展開や新規事業開発といった中長期的戦略を見据えた中途採用積極化による先行投資的なコストが増えております。一方、広告宣伝費では、従来のキャンペーン販促に加え、企業メッセージ浸透をねらった広告を増やしたこともあり、支出が増加しました。

こうした結果、営業利益は198億円と前年同期比9.9%減、経常利益は201億円(同9.0%減)となりました。

【連結業績結果】

連結業績は、売上高は1,044億円(前年同期比12.5%増)、営業利益は198億円(同8.6%減)、経常利益は204億円(同6.0%減)と、単体業績と同じく増収減益となりました。主な子会社別の業績動向としては、まず、英国事業は1千万円の経常黒字となりました。2004年8月期に続き、通期での黒字化達成を目指しています。中国事業は2千万円の経常赤字となりましたが、着実に赤字幅が縮小しております。昨年、グループに加わったナショナルスタンダードは5千万円の経常赤字となっておりますが、早期の黒字化を目指して経営改善努力を継続していきます。最後に、セオリーブランドを展開するリンク・ホールディングスの持分法投資利益(営業外収益)は3億9千万円を計上しています。

【業績見通し】期初予想から変更はありません。

2005年8月期中間期・通期業績とも、連結および単体業績予想に期初予想からの変更はありません。単体通期業績は、売上高3,800億円(前年同期比13.1%増)、経常利益は720億円(同10.7%増)、当期利益400億円(同13.0%増)を見込んでおり、連結通期業績は、売上高3,848億円(同13.2%増)、経常利益は728億円(同13.4%増)、当期利益は408億円(同30.1%増)を予想しております。

(注) IR情報(<http://www.fastretailing.co.jp/ir/index.html>)に決算データなどを開示しております。詳細についてはこちらをご確認ください。